日伯新聞
伯國聖市マエストロ・ルゼオン街一六番（ヴエルダイロ街二五八）
發行所日伯新聞社
本紙定價年拂ミル
外國郵稅共百ミル

Sr. Kobaya
R. Galvê

對日制裁案の運命

小國側の不滿爆發し 果然、聯盟に一大波瀾

—英佛兩國代表、壽府を退去— 支那唯一の頼みはソ聯

（壽府卅一日同盟）聯盟規約改正二十八國委員會は開會第一日より聯盟の現機構に對する小國側の鬱積した不滿が爆發し、果然大波瀾を呼び問題の對日制裁、對支積極援助案の運命も逆堵し難い情勢となつたので四國會議の當初から英佛を引き込んで理事會を指導し、對支援助の目的達成に渾身の努力を續けて來たソヴエット代表リトヴノフ外務人民委員は大勢の挽回に必死となり、支那代表部と緊密な連絡を採り對策に腐心してゐるが、聯盟規約を改正して聯盟の權威を弱めんとする小國側の動向に對抗し何處までも闘ひ拔かんとする氣構へを見せてゐる、他方支那側は英國代表イーデン外相、フランス代表デルボス外相が相携へて壽府を去つたので少なからず狼狽してゐるが、未だリトヴノフの居殘つてゐるを唯一の頼みとし、なほ對支援助案の實現に多大の期待を繫いでゐる模樣である

制裁適用は願下げ 小國側いきり立ち

制裁規定の廢棄を迫る

【壽府三十一日同盟】聯盟規約の改正を審議すべき二十八國委員會は三十一日午前十時五十分開會、聯盟機構の將來に重大變革を加ふべき規約第十六條制裁條項の修正問題を中心に討議を開始したが、席上スイス代表カミイニュ・ジヨルジュ氏は卒直にスイス政府の聯盟に對する不滿を表明し、スイスの完全中立回復案提示の意圖を闡明して左の如く述べた

スイス政府は聯盟に對し完全中立即ち今後聯盟國として負擔する一切の義務から解放されることを要求せんとするものである、但しスイス政府は今回の理事會に於てこの中立要求をどこまでも突つ張らうとする意圖はない、五月の理事會まで待機する方針である、この際特に強調したいことはスイス政府が聯盟の制裁規定に對し特に多大の不滿を持つてゐることである、蓋し右の制裁規定はスイスをして一方的に國際紛爭に捲き込まれる危機に曝されるものであり、併もその危險に對し聯盟は何ら充分な審議を決定協議してゐないからである

次いでスエーデン代表ウンデン氏はスイス代表の主張を支持して左の如く力說した

聯盟は宜しく今後制裁規定の適用を事實上停止する旨正式に承認すべきである

續いてその他の小國代表も交互立つて規約第十六條を俎上に捕捉な集中攻擊を浴びせ制裁規定の廢棄を迫り緊張した場面を展開した

極東情勢の不安に 英米兩國固く握手

自ら慰める英紙の論調

【倫敦三十一日同盟】米國軍令部作戰家インガーソル大佐の英國訪問を契機に英米兩國海軍の相互諒解說が盛んに流布され、保守系デーリーテレグラフ紙は三十一日の紙上左の如く報じてゐる

英米兩國政府が海軍、外交の兩問題に就き現在ほど緊密な提携を確保してゐることは曾てなかつた、最近兩國海軍省は再び緊密な接觸を遂げたが、問題は極東情勢の主力艦建造に對處する兩國海軍の建艦計畫に就き意見を交換した、更にその英海軍省は昨年八月サンチエゴから上海に派遣した陸戰隊千五百名を來月ホノルルに移轉せしめることゝなつた、上海の情勢は最早これら部隊の駐屯を必要としないからである

上海の情勢好轉

米國、增遣陸戰隊を撤退

【華府三十一日同盟】米國政府は上海の情勢好轉に鑑み昨年八月同地に派遣した陸戰隊を全部撤退せしむるに決定、三十一日海軍省から次の如く發表した

駐支新任英國大使

バグダドから飛來

【バグダード三十一日同盟】新任英國駐支大使カー氏は前任地バグダードに於ける殘務整理の上三十一日夜夫人同伴歐亞連絡機でバグダードを出發赴任の途に就いた、二月八日ボンベイでPO汽船に乘換へ上海に向ふ筈である

外國軍隊

初の虹口行軍

【上海三十一日同盟】英國上海駐屯軍約一個大隊は本日午前十一時蘇英租界より日本軍警備區域の虹口地區を通過行軍して英國船に乘船港外に向つたが、日本軍の上海占領以來虹口地區を外國軍隊が行軍したのは初めてである

本年最初の明光激戰

雪の曠野に壯烈、拂曉戰展開

【上海三十一日同盟】三十日朝の明光西南方の戰鬪は本年最初の激戰で、我が田代部隊は三十日拂曉明光西南方に於て敵の大部隊と遭遇するや殘雪の曠野に壯烈なる拂曉戰を展開した後敵に殲滅的打擊を與へた、敵は屍體千餘を殘し潰走した

寒風衝いて 皇軍進擊

【南京三十一日同盟】三十日念佛寺を占領した福田部隊一部〇〇部隊は三十日早朝寒風を冒して進軍、念佛寺西北方部落を奪取、正午過ぎには岡李家、君陳庄一帶の線を確保した

英の對支援助氣乘り薄

武器供給も取り止めか

【倫敦三十一日同盟】英國政府は三十一日閣議を開き三十日壽府より歸國したイデン外相より理事會の經過に就き中間報告を聽取し、對日制裁、對支援助案などに就て重ねて審議を遂げることになつた、右閣議席上に於けるイデン外相の報告は英國政府の態度を決定せる基礎として特に注目されるが、英國政府としては恐らく對支積極援助を回避し支那事變に對し依然嚴正中立確守を强調、援助案中に含まれる對支武器供給も參加しまいといはれてゐる

共産黨殘留分子に 內務省、大鐵槌下す

三十二名を一齊檢擧

【東京一日同盟】昨年十二月十五日の所謂人民戰線派の大檢擧に引き續き內務省警保局では更に同系統の徹底的一掃を期すべく慎重內偵を進めてゐたが二月一日早曉を期し東京を始め全國九府縣に亘り三十二名の一齊檢擧を斷行した

主なる檢擧者左の如し

帝大教授大內兵衛、同助教授有澤廣巳、同南謹二、巢鴨高商芹澤英衛、社大東京市會議員吉川守國、東北大學助教授守野宏三

第二次檢擧の發端は舊臘來檢擧取調べ中の勞農派幹部大森義太郎、向坂逸郎らにつき取調べの結果、東京をはじめ全國の官私立大學によつて組織されてゐる教授グループが神田淡路町東京醫師會館に昭和四年以來引き續き研究事務所を掲げ勞農一派に對し理論的並に經濟的に秘かに援助してゐる確證を摑み、一方勞農派から各選擧に送り出す立候補者に對しても選擧費その他の援助をなしてゐる事實が判明したのでこゝに始めて當局の人民戰線共產黨殘留分子への檢擧の陣立が整へられこの確證に基き警視廳は約一ケ月に亘り秘かに內偵の結果右教授グループは月二回乃至三回に亘り定期會合して事務所を中心に共同研究を續け、一方各種のペンネームを用ひて親蘇共產黨の機關誌「勞農」並に「光騙」等に時局評論その他の投稿し更に機關誌の財政的援助をなし、單に理論的指導にとゞまらず實踐活動に於ても秘かに勞農一派の勢力擴大に協力してゐたものである、なほ文士青野秀吉氏も捜査中

人民戰線大檢擧

大學教授連珠數繫ぎ

【東京三十一日同盟】警視廳特高課では舊臘の人民戰線社大檢擧に續き更に第二次大檢擧を斷行することゝなり、一日午前六時を期して關係各署の應援を得て、先づ東大勞敎授有澤廣巳、同馬場村義太郎、法大教授美濃部亮吉、法大教授南謹二、社大蔡漢遙壯三氏ら關係者を連行した、五氏と前後して第一次檢擧と密接なる連繫があり理論指導的立場にある官私立大學教授、助教授、講師等十數名も檢擧各署に留置された

大阪では 全農派檢擧

【大阪一日同盟】大阪特高課では警保局の指令により一日午前六時半を期して大阪に於ける全農派の指導的分子大阪市議椿富士夫、伊藤實兩名の寢込を襲つて檢擧した

岡山にも飛火

【岡山一日同盟】岡山發一日午前六時半岡山縣特高課員は岡山縣々會議員江田三郎及び社大黨岡山縣支部聯合會執行委員長山上武夫の兩名の寢込を襲ひ檢擧し、目下取調べ中

日滿支交通 ブロック强化

【奉天一日同盟】滿支貨客連絡運輸協定は愈々來る三月一日より實施の運びとなつたが北支方面の發展に伴ひ更にその範圍を擴大して鐵道省、朝鮮鐵道を包含する內鮮滿支連絡運輸協定を制定し交通の迅速を計る計畫が進められ近く實現の段取りとなつた、右協定成立の曉には日滿支間客貨輸送は極めて便利且つスピーデーに行はれ日滿支交通ブロックは愈々强化される筈である

シヤム砲艦 川崎造船所で進水

【神戸三十一日同盟】川崎造船所で建造中のシヤム國砲艦アユチヤツ號姉妹艦砲艦トンブリー號（二二六五トン）の晴れの進水式は三十一日朝同造船所で華々しく擧行された、性能左の如し

長サ七十五米、幅十三米四一〇、吃水四米三一五、排水量二千二百六十五トン、速力十五・五節

東京大會に 比島から聲援

【東京一日同盟】比島體育協會々長バルガス氏は卅一日組織委員會德川會長宛左の如き書信を寄せ大いに東京大會支援の意氣込みを傳へて來た

比島は一九二三年の極東大會成立以來常に同大會に參加し極東スポーツ界の向上に盡力して來た、過般日本のレスリング、拳闘、籠球各チームを招待した目的は日本とのスポーツ關係を一層進化せんがためである、我々は一九四〇年オリンピック東京大會に備へ廣汎なる準備を行ひつゝある東京大會には從來の凡ゆるオリンピック大會に對して派遣したるよりも遙かに多數の選手を送り東京大會に絶大の支持を與へることを約束する

一月下旬貿易

【東京卅一日同盟】一月下旬貿易（單位千圓）

輸出	八九、四〇〇
輸入	八二、六〇〇
出超	六、八〇〇

國府對手の第三國權益 事變以後なら勿論否認

廣田外相、はつきり言明

【東京一日同盟】衆議院豫算總會に於ける西岡竹次郎氏（政）と廣田外相との間に行はれた支那に於ける第三國の權益に關する質問應答は左の如くである（速記）

西岡竹次郎氏 蔣介石政權を對手とせずといふことはこれを殲滅することである、日本は蔣介石を認めてない、外國はこれを正式の合法的政府と認めてゐるのであります、日本は認めてない、ところが今新政權は出來てゐない、そうすると日本は今支那を無政府狀態と見て居られるか、どうですか

廣田外相 現在のところ日本の認めてる支那の中央政府といふものは何もないのであります、兩國の關係は戰爭狀態であります

西岡氏 日本は國民政府は認めてゐない、然し乍ら外國は正式の合法的政府と蔣介石政權を認めてゐる、これに對し軍器或ひは軍費をイギリス、ソヴエットをはじめとして新聞の報ずる通りに貸しつけてゐる、たゞ貸供する筈はない、そうすると何らかのこれに對する代償と申しますか、擔保と申しますか必ずある筈だと思ひます、日本の認めないところの國民政府と契約致しましたところの諸外國の事變發生以來の利權と申しますか擔保權と申しますか、これに對してどうお考へになりますか、外國の利權は切に尊重されてゐるが、これをお尋ね致します

廣田外相 それらのものは無論日本の方で承認する限でないのみであります

西岡氏 今の御言葉を得ましたがそれを御きゝしたかつたのです、國民政府を對手としてゐたところの外國のふのは北支事變が起る前のことだがその以後起つたことに對しては絶對に日本は否定するといふいまの意味でありますか、絶對に認めぬと判つきりいつて頂きたい

廣田外相 日本政府と致しましては支那の國民政府といふものを無視してゐる、若し存在を維持しようとしても日本はこれを撲滅する考へでゐるのみであります、從つてその政府は全然なくなつて終ふ、それらに若し外國人が金を貸してあり或ひは武器を供給して日本への抵抗を長からしめたようなものを日本側が承認するといふことは絶對に有り得ないことであります

人民戰線派檢擧 眞相發表を要求

【東京一日同盟】衆議院豫算總會は午後一時再開議事進行に關連して中井一夫氏（政友）より昨年末に於ても我々代議士の內より檢擧されたものがあるが、檢擧者に對する我々の態度を決定する上からも當局は速かにその眞相を發表されたい

と希望して後、西岡竹次郎氏（政友）戰死傷者に對する叙勳資金の速かならんことと要望し陸海兩相より善處を約し、西岡氏更に非軍籍者に對する交涉及び救濟方法に就て質し廣田外相、米內海相より夫々答辯あり

西岡氏 日本は今日の支那を無政府狀態と見てゐるか

外相 今日戰爭をしてゐるのであつて日本から見れば無政府狀態である

西岡氏 然らば宣戰布告の場合は如何

外相 宣戰布告の問題は國際關係以外に及ばぬ

日滿蒙、空の連絡 前線の勇士に福音

數日で新聞、手紙が届く

【東京一日同盟】北支臨時政府では十日から日滿蒙間の航空郵便を實施することになつた、これは既に定期航空を開始してゐる滿洲國と北支の經通公司と日本航空の三社の完全な連絡によるもので張家口、大同、綏遠、包頭方面宛の郵便物と限られてゐるが、北支の諸般建設工作の進歩につれ先づ空からの連絡が出來たことは劃期的のことで商業用の通信のみならず、戰線に勇躍する將兵等に新聞や手紙、小包が數日を經ずして屆けることが出來るのは喜ばしい

無敵!!
農家よ、安んぜよ！
この農藥品の効果に!!
國產 アルセニアット・デ・シユンボ（砒酸鉛）
は赤刷レツテル貼付の本社販賣品を……
◆御注文は五十キロ（一檢）以上
多量御購入の方には特別の御相談に應じます
本社出張員又は直接本社へ
工場 日本農藥株式會社
販賣所 日伯社營業部

チンタは
Pelikan
GÜNTHER WAGNER LTD.
日本總代理店 日伯社

農家の戰友……
獨乙製噴霧器 プラツツ（攪拌器付）
精巧・堅牢・無比
天下に冠たり
先づ良品の御撰擇が肝要です……
◆御注文は出張員
◆又は直接本社へ
直輸入 日伯社營業部

ゴエス將軍訪日說

九三〇年十月革命以來現大統領ゼツリオ・ヴアルガス氏と行を共にし現に國軍參謀總長として今を時めくゴエス・モンテーロ將軍の日本訪問說が傳へられてゐる、未だリオ大使館からは何らの發表なく果して實現するかどうか今のところ眞僞の程は判らないが將軍の訪日說は今度が始めてではなくすでに陸軍大演習觀戰の正式招待を受けたことがあり、今次の風說は寔に有り得べきところで、實現の可能性亦多分に存するものといつてよい

ゴエス將軍は今次革命の產んだ幸運兒の隨一だと云ふものもある、革命勃發當時一下級士官に過ぎなかつた彼が僅か五七年の間に大將となり參謀總長の要職をかち得たのであるから幸運兒といへば幸運兒であるが、將軍が斷じて有りふれた一片の武骨でなく多分に政治家的素質を具へてゐることは三二年護憲革命當時の活躍振りや陸軍大臣としての國軍の地位を昂めるため縱橫の腕を振つた實績に徵するも明瞭であり、敢て革命といふ非常時局に際會せずとも軈ては今日の地位をかち得る人であらうと思はれる

將軍の訪日說は色々の意味から興味ある問題と考へられる、即ちその一は第三次共和政府に入つて內外の諸情勢から當國陸軍の地位に重要性加はり、表面上何ら干與せざるが如くにして實は政治的に犯すべからざる大勢力を把持することになつた今日、その大御所と目される將軍を招待し無敵陸軍の實際を見て貰ふことである、將軍が日本陸軍に憧憬を有つてることは從來幾たびか自身發表してゐるところで、歐米から教官を聘してゐるに拘らず軍の組織その他において日本に倣つてる點殊からず在るといふ、この人が目のあたり日本陸軍の現狀を視ることは、普に伯國々軍のため啓發される點あるばかりでなく、陸軍を通じて日本及び日本人に對する認識を深めることより生ずる利益は更に大きなものがあらう、第二はこれも第一から當然齎らされるものと見做さるべきであるが、彼の排日將校ノビモ少佐などの屬するアルベルトーレス協會々員の一派を形成する軍人層の日本觀の是正である、アマゾンが今にも日本軍のために侵略されるといふ如き荒唐無稽の說は專らこの一派から流布されたものであるが、果して日本が地球裏のアマゾンを攻略して軍事的據なる必要に迫られて起された點を作る必要があるかどうかを究めるとき、支那における事情を直ちにブラジルに移すことの愚は氷解されようとそれが如何に妄說であるかは一度日本の現狀に接したゞけで首肯されよう、殊に今次日支事變が如何なる動機、如何なる必要に迫られて起されたかを究めるとき、支那における事情を直ちにブラジルに移すことの愚は氷解せざる體の言辭多いは遺憾である、最近再び反日的記事が一部新聞紙上に散見するように、日本の眞情を知つて貰ふことは、將來における斯かる謬見を是正し日伯兩國の友好關係を密にする上に多大の効果あるものと思ふ

國民最大の關心事

支那を一體どうするか
具體的方針を明示せよ
中島氏質問に　外相　陸相　重要答辯

【東京一日同盟】衆議院豫算總會は午前十時四十分開會、田子委員長より質問通告者が多數のため豫算總會は二月八日まで延期すること、質問は一人一時間に限定することを諮つて決定、質問に移り

中島彌團次氏(民政)　日本は今後支那をどうして行かうといふのか、これが今日國民の最も聞きたいところである、又今議會の重要議題でもあるのだが、今日までの質問應答は極めて抽象的で實體を捕捉するに困難である、獨逸大使に提示されたといふ對支基本條項四ケ條は新興政權に對して要求するのであるが、現に蔣政權の我國に對し持つてゐる權利義務は新政府に繼承せしめるのであるか

これに對し廣田外相は左の如く我對支要求四項目中の賠償要求內容を明かにした

一、將來再びかゝる事變を繰返さぬやうに一定の賠償を要求し

二、それは如何なる政權が出來ても要求する方針である

一、賠償の中に駐屯軍の經費をも包含せしめていゝと思ふ

なほ杉山陸相よりは駐兵問題につき協定の實施保障まで全占領地域內に駐兵する旨重大答辯をなした

【東京一日同盟】一日の衆議院豫算總會席上に於て民政黨の中島彌團次氏質問に對する廣田外相の答辯左の如し

今次事變の解決の方法と致しましては從來蔣介石と直接談判によつて求める方針で參つたのでありますが、過日聲明致しましたような事情で將來は全然これと關係を絕ち、支那に新に起りつゝある政權を中心と致しまして將來支那の統治を希望し、その下に日本との間に提携を計つて行き度いと思ふのであります、その方法は根本觀念と致しまして過日演說中に述べました項目を基礎として話を付けて行き度いと思ふのであります、その內容に就て不明の點もあると斷りましたが、それは未だ判つきりさせてない點がありますので、不明の點はあることゝ思ひますが、この條件以外の點は非常にはつきりしてゐるのであります、その點によつて支那側は充分日本の眞意を察すべきであるといふ考へを持つてゐるのであります

【東京一日同盟】衆議院豫算總會席上に於て民政黨の中島彌團次氏質問に對する廣田外相の答辯左の如し

一、殊に青島工場は完全に破壞されたとはいへ敷地は存在し、工場建設の基礎があるのだから新設に比し復舊は容易である

一、且つ費用の點に於ても復舊の方が三割方輕減される

而して復興費としては一社當り紡機五万錘、織機一千台を基礎として約六千万圓を要するが、內地休錘を振り向けることゝなれば四千万圓で足りることゝなり、業者は右資金を政府が低利融通することを要望してゐるが、若し不可能の場合は社債發行、增資などの必要に迫られるのでその成行は頗る注目されてゐる

先づ青島を手始に在華紡の復舊開始
資金は大體四千万圓で充分

【青島三十一日同盟】青島紡績復興問題は各方面より注目されてゐるが、內地紡績業者は左の如き理由をもつて兎も角も青島に於て復舊することを第一義としてゐる

一、在華紡は未だ飽和點に達せず今後その發展は大いに期待される事情にある

一、從つて一應青島紡を復舊後新に濟南方面に進出すべきである

西、國民政府成る
初代首相はフランコ將軍

【サンジヤンドリユーズ、佛】佛フランコ將軍の下に委員會組織をとり過渡的政治形態を維持して來たが、革命勃發以來一年有半フランコ軍はスペイン全土三分ノ二を確保し、民心を收攬すると共に對外的には日獨伊外數ケ國政府の正式承認をも受けて國際的にも著しく强化しこゝに政權の基礎を確立安定するに至つたので、フランコ將軍は愈よスペイン國民政府を組織するに決し、三十一日目ら首相の印綬を帶びて次の如き顯振れを決定した

首相フランコ將軍、副總理兼外相ハルダナ伯、文相ロドリゲス、經濟相スアンセス、陸相オロフアス將軍、海相セルベラ提督、空相キンデラン將軍、勞働相デエノ內相(新聞宣傳を含む)スネル、土木相ベナ、農相ブエンザ、法相ボツエスタ無任所相オツエスタ

全日本スキー聯盟
正式承認さる

【ガルミツシユ、バルテンキルヘン三十日同盟】二十九日全日本スキー聯盟副會長大野清七博士と共に來獨中の日本ボツスレーは當地滯在中の國際ボツプスレー並びにトボガニング聯盟會長フレジユリエール伯と會見、豫て申込をしてゐた聯盟加盟は解決、正式承認された旨の通告を接受、更に札幌大會ボツプスレーに對する管理權は獨逸に移り、ボツプスレーは當地滯在中の國際ボツプスレー並びにトボガニング聯盟會長フレジユリエール伯と會見、豫て申込をしてゐた聯盟加盟は解決、正式承認された旨の通告を接受、更に札幌大會ボツプスレーに對する管理權は獨逸に移り、

帝國は斷乎たる方針の貫徹に備へ得べき財政經濟政策をはじめ國民精神の總動員に對し平戰兩面より萬全の檢討を遂げんとするもので、特に戰時經濟體制の强化に就て積極的政策の斷行が要望されてゐる折柄連絡會議を前に開かれる三十一日の參議會の結果は特に注目に値する

今週中開催
連絡會議

【東京三十日同盟】大本營と政府との連絡會議は去る十五日以來一時中斷されてゐたが將政權默殺後の所謂第二段の對支工作遂行に伴ふ今後の具體的政策の實行に當つては當然、大本營と政府側との連絡會議はより一層緊密且つ頻繁を加へるべきことが豫想されたところであつて、政府は愈よ今週中に右連絡會議を開催すべく、これが準備として去る二十三日の首相、陸海外の四相會議並に二十九日の臨時閣議の結果に基き、三十一日には特に正午より臨時參議會を首相官邸に招集し、首相、外相、陸相出席して連絡會議に臨む政府の根本方針に就て隔意なき意見の交換を遂げることになつた、即ち

政府としては中外に將政權を相手にせずとの强硬なる決意の下に近衛首相が貴衆兩院を通じて屢々闡明せる如く、今後益々國家總動員體制を整備し將政權の潰滅を期する

帝國は斷乎たる方針の貫徹に備へ得べき財政經濟政策をはじめ國民精神の總動員に對し平戰兩面より萬全の檢討を遂げんとするもので、特に戰時經濟體制の强化に就て積極的政策の斷行が要望されてゐる折柄連絡會議を前に開かれる三十一日の參議會の結果は特に注目に値する

司法フアツシヨ痛擊
鹽野法相、人權蹂躪全滅を誓言

【東京一日同盟】衆議員本會議は午後一時二十五分開會、先づ濱野徹太郎(民政)安藤正純(政友)兩氏の一月二十四日の質問に際し病氣缺席中であつた鹽野法相より右答辯を行ふことゝなり

鹽野法相　司法制度の驅逐については前議會の院議を尊重して銳意努力中であるが今後も努力する積りである人權蹂躪に對しては就任以來これが戒飭に努め將來かかる不祥事を惹起せぬやう、これが全滅を期してゐる、政府としては二度と人權蹂躪の起らぬよう努力してゐる、帝人事件は愼重熟慮の結果判決を確立せしめたものである

再質問のため濱野氏登壇、再び帝人事件の政治的責任問題から司法フアツシヨの恐るべき所以を述べ

當時の衝に當つた人が只一人責任を採らぬとあつては日本精神、日本官吏道の滅亡である

と論じて再質問を打切り日程を變更、裁判所の設立に關する法律案(政府提出)外一件を上程、鹽野法相より提案理由の說明あり、これに對し中村高一氏(社大)簡易裁判所設立につき質問、次いで臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)所得稅法中改正法律案(政府提出)外關係六案を一括上程、賀屋藏相より提案理由の說明ありたる後質疑に移る、板谷順助(政友)小林清一(政友)兩氏と賀屋藏相の間に酒稅中心に質疑應答あり三十六名の委員附託となり三時二十六分散會

Empreza Paulista de Construcções e Sorteios

Avenida São João, 437 —:— Telephone 4-5685 —:— Caixa Postal, 2474 —:— SÃO PAULO
Capital a realisar 10.000:000$000 —:—:— Fundo de Garantia 1.000:000$000
AUTORIZADA E FISCALIZADA PELO GOVERNO FEDERAL

聯邦政府認可監督
パウリスタ抽籤貯蓄物品會社
本社　聖市アベニーダ・サン・ジオン四三七　郵函　二四七四

十二月二十七日附當社債券番號九〇四二五號
金額　拾コントス・デ・レース也當籤幸運の
西岡基様

今回突然パウリスタ抽籤貯蓄物品會社監査役川崎マリオ氏と當地ボンベイア代理人三好榮氏とが出張せられ、愚息基が、貯蓄債券番號九〇、四二五號にて、去る拾貳月廿七日の抽籤に拾コント當選致し、プレミオをお渡し下さるとの事にて、誠に驚愕致しました

思へば、小生も子供の將來の爲と思ひ當地代理人三好榮氏よりの御勸めに依り去る拾壹月より加入致させて貰ひました處、二ケ月分の支拂拾ミルにて今度拾コントが當選致しました樣な次第で、夢のやうな氣持が致します、御蔭樣を以つて御社より受取りましたプレミオ拾コントを以て今後基の資本金となし、將來を子供の幸運にあやかり有効に使用したいと愚考致します

御社の債券に對する、誠意並に監査役川崎マリオ氏の犧牲的なサービスに對しては心から御禮を申上げる次第であります

プレミオに對する支拂の正確な事、日本人部川崎マリオ氏の奮闘努力と相俟つて御社が短日月の間に、斷然獨歩の道を開かれ事業の盛大になつた事も始めて了解致し御社の事業の發展に對し、絕大なる感謝と期待を以つて見守りつゝある事をお忘れ下さらない樣にお願ひ致します

抽籤が毎土曜日毎に有つて他社に比較して期間が短かいのが何より貯蓄するに適當するものと考へます

社長並に皆々樣に宜敷しく御厚意をお傳ひ下さい、御社の隆盛と、日本人部の皆々樣の御健康をお祈り致します

昭和十三年一月廿三日
西岡基　父より
パウリスタ抽籤貯蓄物品會社　御中

謹告

今回の事件により各地代理店並に債券者の皆樣よりマリオ社長宛に御叮嚀なる御見舞の手紙を下さいまして厚くお禮申上げます

當事件に於けるマリオ社長の執つた行爲は正當防衛にて且會社とは別個の個人的のものであります、それ故弊社は從前通り全責任を以て債券者の皆樣に支拂を致しますから前々通り掛金のおくれない樣に拂込み下さいます樣こゝにお禮と同時に皆樣に謹告致します

尙チエテ代理人に山田宏氏が正式に任命されました、よろしくお引立の程お願ひ致します、松崎正氏も辭任致しました同樣よろしくお願ひ致します

一九三七年十二月下半月の抽籤結果

十二月廿七日抽籤の結果＝ロテリア・フエデラールの當籤番號

A 九〇四二五
B 九九六
C 九〇六三
D 三
E 二四三五
F 九〇六三
G 二
□ 四三五
□ 六
□ 百
□ 三十
□ 千
□ 邦人プレミオ獲得者
バンデイランテ　藤田義衛様
同　村田利安様
コリーナ　岩月利治様
パラグアスー黑岩利操様
ブ・ブルデン　大堂時利様
チエテ移住地　山本信太郎様
同　小柳江様
リベイロン・クラーロ　岡崎君子様
サント・アナスタシオ　桑田肇様
山田君子様
石川吉太郎様
同　富岡隼夫様
リベロン・クラーロ　富岡隼夫様
サント・アナスタシオ　君子様
山田君子様
御注意＝例へ當籤番號の債券所有者でも右に記載せる抽籤當日までにその月の掛金未拂込の者は賞金を受取る資格がありませんから御芳名の掲載を差控へましたから御承知願ひ上げます

一九三八年一月八日抽籤の結果

ロツテリア・フエデラール當籤番號

一
二
三
四
五
九〇二七
五三五四
三〇五一六
九九五七

當社債券當籤番號並に賞金
セリエボ
ウリスタ　プラール
十五コントス
六
A 九〇四二五
B 九九六
C 九〇六三
D 三
E 二四三五
F 九〇六三
G 二
□ 四三五
□ 六
□ 百
□ 三十
□ 千
□ 邦人プレミオ獲得者
バンデイランテ　藤田義衛様
同　村田利安様
コリーナ　岩月利治様
パラグアスー黑岩利操様
ブ・ブルデン　大堂時利様
チエテ移住地　山本信太郎様
同　小柳江様
リベロン・クラーロ　岡崎君子様
サント・アナスタシオ　桑田肇様
山田君子様
石川吉太郎様
同　富岡隼夫様
リベロン・クラーロ　富岡隼夫様
サント・アナスタシオ　君子様
山田君子様
御注意＝例へ當籤番號の債券所有者でも右に記載せる抽籤當日までにその月の掛金未拂込の者は賞金を受取る資格がありませんから御芳名の掲載を差控へましたから御承知願ひ上げます

一九三七年十二月廿七日抽籤の結果＝ロテリア・フエデラールの當籤番號

一
二
三
四
五
一二四二五
一六九九六
一八六五二三
二〇六七二
一三九〇
A 九〇四二五
B 九九六
C 九〇六三
D 三
E 二四三五
F 九〇六三
G 二
□ 四三五
□ 六
□ 百
□ 三十
□ 千
□ 邦人プレミオ獲得者
バンデイランテ　藤田義衛様
同　村田利安様
コリーナ　岩月利治様
パラグアスー黑岩利操様
ブ・ブルデン　大堂時利様
チエテ移住地　山本信太郎様
同　小柳江様
リベロン・クラーロ　岡崎君子様
サント・アナスタシオ　桑田肇様
山田君子様
石川吉太郎様
同　富岡隼夫様
リベロン・クラーロ　富岡隼夫様
サント・アナスタシオ　君子様
山田君子様
御注意＝例へ當籤番號の債券所有者でも右に記載せる抽籤當日までにその月の掛金未拂込の者は賞金を受取る資格がありませんから御芳名の掲載を差控へましたから御承知願ひ上げます

一九三八年一月五日抽籤の結果

ロテリア・フエデラールの當籤番號

一
二
五六二五
三二五三
八〇五四〇
九一四二〇
五四三
A 九〇四二五
B 九九六
C 九〇六三
D 三
E 二四三五
F 九〇六三
G 二
□ 四三五
□ 六
□ 百
□ 三十
□ 千
□ 邦人プレミオ獲得者
バンデイランテ　藤田義衛様
同　村田利安様
コリーナ　岩月利治様
パラグアスー黑岩利操様
ブ・ブルデン　大堂時利様
チエテ移住地　山本信太郎様
同　小柳江様
リベロン・クラーロ　岡崎君子様
サント・アナスタシオ　桑田肇様
山田君子様
石川吉太郎様
同　富岡隼夫様
リベロン・クラーロ　富岡隼夫様
サント・アナスタシオ　君子様
山田君子様
御注意＝例へ當籤番號の債券所有者でも右に記載せる抽籤當日までにその月の掛金未拂込の者は賞金を受取る資格がありませんから御芳名の掲載を差控へましたから御承知願ひ上げます

一九三八年一月十五日抽籤結果

ロツテリア・フエデラールの當籤番號

一
二
三
四
五
一九三一七
一六二七六
二〇八六〇
七五一一〇
A 九〇四二五
B 九九六
C 九〇六三
D 三
E 二四三五
F 九〇六三
G 二
□ 四三五
□ 六
□ 百
□ 三十
□ 千
□ 邦人プレミオ獲得者
イタキ　中川勇様
ブ・ブルデン　比嘉清吉様
バンデランテ　高橋政信様
バレットス　東井雄子様
モツカ　上田靜雄様
コリーナ　林安勇雄様
ブ・ウエンセスラウ　岡崎正喜様
ブ・ブルデン　中村智治様
中川ムツメ様
チエテ　中村動様
アバレ　中洲白谷口富雄様
一九三八年一月廿二日抽籤の結果
ロツテリア・フエデラールの當籤番號

一
二
三
四
五
四〇二二
七九六二二
七六六二二
一四二四八
六八二五
A 九〇四二五
B 九九六
C 九〇六三
D 三
E 二四三五
F 九〇六三
G 二
□ 四三五
□ 六
□ 百
□ 三十
□ 千
□ 邦人プレミオ獲得者
バンデランテ　野木典子様
ブ・ウエンセスラウ　白谷口高吉雄様
バレットス　富
リオ・プレツト　村松信次様
サント・アナスタシオ　本田アルマンド様
オリンピア　塚重喜様
オリーナ　大里卓正様
チエテ　新田洞マツヂ様

マリ、ア郡の動靜 斷然日本人が優勢

州農務局發行のパンフレット中に聖州各郡誌があるが、最近これと同じ内容の聖州農業といふのが發行された、之は州内各郡の現勢を紹介した有益なものだが、一例を擧げるとマリリヤ郡は次の通り

一九二八年十二月廿四日創立、八區に分れ面積二、四五〇平方キロ人口七一、四六四、密度二九（州密度二八）マリリヤ市は聖市より五五五キロの距離、土質はテラロッシヤ地帶が優勢、就學兒童一二、五三五

地主の數は左の如く日本人が斷然優勢で二、二二五の耕地を所有、伯人の一、〇二二より多い

日本人	二、二二五人
伯國人	一、〇二二
伊太利人	三二八
西班牙人	二二三
葡萄牙人	二七八
獨乙人	一四
シリア人	一〇

の順である、珈琲耕地二、〇一九中五萬本以下の小耕地は八二八となつて比較的小農が多い、大耕地の代表的なものはブラ拓經營のパストスで二千萬本の珈琲を所有してゐる

コチア産組等中心に 農産組合聯合會結成

日伯合同で利益擁護に邁進

聖州内の各農業組合を打つて一丸とする産業組合聯合會組織はコチア産組その他重立つた組合の主唱で從來から屬々行はれて來たが、去る一月十九日コチア産組、日本人産組中央會、乳産加工組合、リメイラ果樹組合その他州内の重立つた組合代表が寄つて創立總會を開催

理事長アデマル・モラエス
會計理事ルベルシオ・アラウジョ、理事下元健吉、堀清

等コチア産組から多數の役員入り芽出度く聖州農産組合聯合會成立を見た、今後同會は州内各農業生産者の協同利益のため邁進することゝなつた

レヂストロに落雷 一名は即死

家畜其他の被害甚大

去る廿四日聖市を襲つた豪雨は南聖地帶一般にも見舞ひレヂストロ地方はピカ〳〵ガタガタの連續であつたが、同地十八區小池幸太郎氏一家は山仕事から歸る途中外人カマラーダ、長男、次男、外人カマラーダ、家長の順でパストを歩いてゐたところ、ピカツと光つたと思ふた瞬間前の四人が倒れてゐる、音はしなかつたがどうして倒れたのかと不思議に思つて起してみると、先頭の外人カマラーダは即死長男、次男、もう一人のカマラーダは人事不省に陥づてゐたがしばらくして蘇生した同じ時刻セッテバラスでも外人と牛が死んだし其他各地方でも相當被害あつた模樣である

判決を前に 殺人犯死亡

去る昭和十一年九月十六日ソロ線バラグランデ驛に於て一名、子供一名が賊彈のため死亡、町民は必至の抵抗を試みてゐるが、武器が不足でこのまゝでは賊の蹂躙にまかせら

三百の匪賊を 爆擊に軍用機出動

武器が足らぬ 町民からSOS

前號所報、三百名の匪賊に襲はれたボルト・ナショナルは北伯トカンチス河上流のゴヤス、パラー州境近くゴヤス第一の町で人口一萬であるが襲撃した匪賊は「バルボーザ」團と云はれて居る兇惡な一團で附近のフアゼンダに放火掠奪した上町も包圍襲撃したもので警兵三

れてしまふとSOSを發し、當局では救援のため軍用機を派遣し賊團を爆撃せしめることゝなつた

自動車電柱と衝突

運轉の賀數氏生命危篤

電話線を切斷し一時不通騷ぎ

リンス市ア・サンパウロ生命保險會社總代理人賀數輝俊氏はサントスに避暑中去る三十一日午後三時頃、自家用車に日本へ歸る知人を乘せて同市アベニーダ・コンセイロ・ネビアス街を横切らんとした際先方より走つて來たタクシーを避け損つて電柱と猛烈な勢ひで衝突、賀數氏は全身打撲傷を負つて直ちに入院したが生命氣遣はれて居る

なほ衝突の際は何しろ八十キロの時速で疾走してゐたため、鐵製の電柱は眞二ツに折れ、電話線は切斷され一時不通に陥る騷ぎであつた

實業野球再開

殘る三試合を一氣に決行 今夜代表者會議開く

二、三日來降りさうで降らず蒸し暑い日が續いてゐる試合一蜂谷對國井、聖報對カが、どうやら天氣ようにはなるので度優勝者コチヤ産組チームへすつかり氣をよくした實業リーグでは昨日石原會長及び幹事が大橋球場へ出向きグラウンドの狀態を檢分したが、除草さへすればこの日曜（六日）には殘る三ナカオ、ブラ拓對日伯三七年の優勝旗授與式及び優秀選手表彰式などが擧行出來ると云ふ事が確められた、除草人夫は既に齊約も終り土曜日までには除草を完了することになつてゐるから久し振りに颯爽たる青年球兒の勇姿に接することが出來よう

尚リーグでは六日の試合及び今年度リーグ戰への準備工作を協議するため、本日午後八時より常盤旅館で各チーム代表者會議を開くことになつたが

リーグの内容充實、試合のスピードアップ等の必要が叫ばれてゐる折柄、果して如何に改革を斷行するか、この會議は各方面から注目されてゐる

天氣も固つた！

伯國で最初の死刑

バイヤ州警察では情婦をフアツカで十一ケ所も傷つけ遂に死亡せしめたガブリエル・パチスタ・ドス・サントス（三三）を逮捕したが、その殺害の慘狀さに同人を死刑にせよと裁判所に一件書類と共に送つた

アバレーで 青年雄辯大會

ソロ線アバレー青年聯盟では來る二月十一日の建國祭の佳節をトし第一回青年雄辯大會を開くことゝなり過日アバレー小學校で必要事項を協議したがアバレーに於ける邦人棉作の歴史は二十五年余の永きにあるにかゝはらずこの種の催しは今回が初めてなので家長はじめ青年間の期待は相當なものがあり當日の盛大さが豫想される

製絲工場 入荷狀況

バストス

昭和十二年十月より十二月迄三ケ月のバストス移住地製絲工場の生繭購入額は左の通りである

移住地内

一、五〇八K	二〇〇
八、二六六$	四〇〇

移住地外

九、九二九K	四〇〇
五九、〇七二$	八〇〇

外に屑繭合計

一、一六三K	九〇〇
一、二四五$	一〇〇

因に十二月買入分は雨期に入つた爲品質低下したが左記の通りであつた

精繭 四、〇四一K五〇〇
屑繭 二、四〇五$七〇〇
三三五K二〇〇
三四三$八〇〇
玉繭 七七K六〇〇
三八$七〇〇

新刊紹介

聖市ブラジル法制研究所發行法制叢書第三輯「ブラジル新憲法」が刊行された同書は註釋付で新憲法發布の經緯、新法令の解説、獨裁政治について解りやすく述べてある、定價三ミル

流線型

◆…邦人が出生兒を伯國役場に屆ける際書記が日本人の名に不馴れのため、よく聞き間違つて書入れ、屆けた本人もそのまゝにして置き、後になつて旅券を貰ふ時などにゴタ〳〵する事がある、昨日もそんな事件があつた、御注意下さい

◆…通行中の美人に見とれ電柱と衝突昏倒した鼻の下の長い邦人が聖市にあつたが、去る三十一日今度は自動車運轉中これまた美人の艶姿に氣をとられ自動車もろとも河の中へ飛込んだ趣鼻下長があつた

◆…パラグワイ國邦人移住地視察中の青木拓務事務官は海興が移民を送つてゐるダーネコンセツソン經由來る十五日頃歸聖すると

◆…勤業部の宇野通譯生は永い間の念願がかなつていよ〳〵四月頃歸朝する模樣後任には聖市にゐたことのある富永秀三郎氏が來る

◆…金が仇の世の中――冊一日午後三時頃、海興の下で執達吏と商人とのイサカイから驚られた商人カーツとなつて發砲したが足、胸額に三彈を受けた執達吏君悠々と煙草をふかしてゐたと、流石は執達吏度胸

◆…これもお金が原因――三十日のこと二百レースのことから喧嘩してピストルで相手を射つた事件がペンニヤにあつた

▲…伯國柔劍道聯盟では先程發行した機關紙「武德」を講道館嘉納治五郎、日本武德會林銑十郎兩氏へ送付し日本と聯絡とることになつた

▲…レヂストロ警察局の自動車をさる御仁が運轉して植民地を巡視中、外人の惡たれ子僧が石をぶつけ大騒ぎとなり、レヂストロの石合職として方々に語り傳へられてゐる

襲 たれは …… ルナヨシナトルポ

鉢卷姿も勇ましく 非常時青年の意氣

既報、パウリスタ延長線ベラクルース驛綠園青年聯盟（ヴイヤード、アンデス、ピラ日本、第一昭和、バンデイランテス）では過日第二回辯論大會を催し二十六名の辯士諸君が壇上から非常時青年の意氣を發揮したが、寫眞は鉢卷姿の辯士諸君

伯國で最初の死刑

バイヤ州警察では情婦をフアツカで十一ケ所も傷つけ遂に死亡せしめたガブリエル・パチスタ・ドス・サントス（三三）を逮捕したが、その殺害の慘狀さに同人を死刑にせよと裁判所に一件書類と共に送つた

アラサツーバ 青年會甦生

一月廿三日アラサツーバ青年會の發會式を擧行、殆んど消滅してゐた青年會が新らしく結成された、新役員は左の通りである

會長	黒木常彦
副會長	飯野七
會計	千昇
都司	正巳
營野	謙二
外交辯論部長	間野
運動部長	伊藤
書記	朝倉正德

青年會の本年度事業としては運動會を開催、我等の學園寄宿舍を中心として呼びかける豫定で、追々圖書館等の經營も その事業として進みたい意向の由

移轉擴張御披露

謹啓皆々様益々御多祥の砌大慶至極に存じ候陳者私事カタンヅーバ市に於て旅館開業中は皆様方の多大なる御愛顧御引立に預りました砌誠に有難く深く感謝致します就ては今回はリオ・プレート市渡邊旅館を譲りうけ誠實と懇切とより良きサービスをモツトーと致し御客様の御滿足に添ふ様努力致しますれば何卒倍舊の御愛顧御指導の程幾重にも御願ひ申上げます

アラ、クワラ線リオ・プレート市
ウオルンターリオ・デ・サンパウロ街一〇五
日の丸旅館
皆木朝野
郵函一二八　電話三二八

公告

左記署名の兩名はサンタ・メラニア耕地所有のドトール・ジョン・カルロス・フエアバンクス氏、同マリア・ダ・グラツサ・ロペス・フエアバンクス夫人より本月十五日附聖市第十タベリヨンに於てリーブロ二百卅七第一頁に登記しマリ、ア市不動産登記所に登記濟みに付當日以後當耕地に關する一切は左記兩名（ピンチ・クワトロ・デ・デゼンブロ街四一番）に照會されたし尚當耕地に在住の方でドトール・カルロス・フエアバンクス氏同夫人との正式契約證書か又は十五日以後の左記兩名との正式契約證書の無き場合は退耕を願ひ又マツト伐採損害賠償を取り農作物を没收す

右日伯新聞を以てマリリア、ポンペイア地方の日本人諸賢に公告す

一九三八年一月廿五日

マリ、ア市
ジアルマ・ゴンサルベス・ダ・シルバ
中尾政秋

Firma reconhecidas pela 2°. Tabellião de Marília.
Reconheço verdadeiras as firmas supra de Djalma Gonçalves da Silva, Masaki Nakao e don fó
Marília, 25 de Janeiro de 1938
Armando de Oliveira Rocha Filho

Alliança da Bahia Capitalização S. A.
Companhia Brasileira para incentivar o desenvolvimento da Economia — Sede Social: Bahia.
Capital realisado 820 0000000 — Capital subscripto: 3 000 0000000
"O Melhor Titulo dentro do Melhor Plano pela Melhor Sociedade de Capitalisação"
一九三八年一月の貯蓄債券バイヤ州首都にて於て一月廿九日の抽籤結果は下記の如し
1.° 10.980　2.° 8.510　3.° 14.139　4.° 4.786　5.° 8.037
•サンパウロ州總代理店•
パテオ・ド・コレジオ街三A　電話二・七五五九
Exijam dos agentes, inspectores e cobradores autorisados as listas com informações complementares do sorteio

日本人部
◎ノロエステ、パウリスタ線
◎モヂアナ、アラ、クワラ線
監査員　伊東圓吾　谷口潮

賣土地
鑛物地帶將來發展性ある土地千五百域譲り度
御照會は直接左記へ
Rua Quintino Bocayuva, 41 - Sobrado S. Paulo

歸國御挨拶
各位
拝啓各位益々御清祥賀上候陳者小生一家今般家事の都合に依り一時歸國致す事と相成候間日錦地出發に際しては御多用中盛大なる御見送りを添ふし且つ多大の御餞別に預り御厚情の段萬謝奉り候以御餞途中無事諸手續完了一月三十一日サントス港出帆プエノス・アイレス向乘船一月廿三日サントス港出帆一路丸に乘結一月廿三日サントス港出帆一路丸に乘結一月廿三日サントス港出帆一路丸に乘結

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 4.a-feira, 2 de Fevereiro de 1938 — Num. 1.318

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"

SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL

Por anno	30$000
Por semestre	16$000
Numero avulso	$500

PARA O EXTERIOR

Por anno	95000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios neste folha

O Governo Provisorio da China agradece ao Nippon

Importante declaração publicada pelo governo de Pekin

Pekin, 27 — (Domei) — O Governo Provisorio da China publicou hoje a seguinte declaração, na qual agradece a declaração do governo Imperial, do dia 18, sobre o não reconhecimento do governo nacionalista chinez.

"O partido nacionalista prejudicou o povo chinez e afundou a patria num abysmo, por pensar unicamente no interesse partidario ou pessoal, sem jamais cuidar dos interesses publicos e da nação. O crime daquelle partido e dos seus sequazes é sobejamente conhecido e está sufficientemente provado, não necessitando nenhuma critica nossa. Só em Shanghai elles sacrificaram mais de um milhão de vidas, entre soldados e civis. No entanto continuam à declarar ostensivamente que continuarão a resistencia, a todo custo, com o sacrificio do sangue e da vida. Na verdade a teimosia do governo nacionalista custou-lhe trilhões de "yuans", nestes seis mezes de lucta, e nada mais. Por que motivo o povo chinez haveria de merecer tamanho soffrimento? Lamentamos profundamente à nossa sorte.

O partido nacionalista perdeu o direito de ser nosso governo. Os nacionalistas enganam o povo, insistindo na campanha anti-japoneza, ameaçando a população, e procurando manter-se no poder a custa desses processos absurdos que empregam. Porém, está fóra de duvida, a completa ruina do governo nacionalista, pois os planos enganadores serão cedo ou tarde descobertos pelo povo. Nestas condições, não é possivel esperar a reflexão e reconsideração do governo nacionalista, mesmo que se lhe conceda bastante tempo e facilidades.

Estamos assim obrigados a romper as nossas relações com os nacionalistas. O paiz amigo, Nippon, por seu turno, aconselhou a reconsideração do governo nacionalista, estribando-se no espirito da paz do Oriente.

Comtudo os nacionalistas não mudaram de idéa e continuam cavando a sua propria sepultura. Nessa emergencia resolvemos organisar o Governo Provisorio, a 14 de Dezembro ultimo, com o escopo de salvar o povo das garras nacionalistas. O Nippon esclareceu, em declaração do dia 18 do corrente, a sua attitude, dizendo não mais continuar as relações com o governo nacionalista, e, restabelecer as relações entre o Nippon e a China, por intermedio do Governo Provisorio. Este facto é motivo de immenso jubilo para o Governo Provisorio da China, o qual trabalhará por sua vez, com a collaboração do paiz amigo, na salvação nacional e, repellindo cathegoricamente o communismo, se dedicará ao trabalho da construcção de uma China nova e no estabelecimento da paz do Oriente.»

O incidente com o consul norte-americano de Nankin

Quem teria sido o verdadeiro culpado?

Noticias pormenorizadas sobre o espancamento do consul norte-americano, occorrido a 26 do corrente em Nankin, dizem:

"O consul yankee em Nankin, no dia 26 do corrente, querendo fazer investigação de um certo facto, procurou a residencia de um chinez, acompanhado de um gendarme nipponico. A casa procurada estava guardada por um pequeno destacamento japonez. O consul yankee, snr. G. B. Alison, apezar das repetidas ordens dadas, no sentido de deixar o estabelecimento, quiz, á força, penetrar no referido, estabelecimento. Em vista desta insolente attitude do snr. Alison, uma sentinella esbofeteou-o, levando o mesmo fim tambem um outro yankee que o acompanhava.

Perante este facto, o snr. Alison protestou junto ao consulado geral do Japão, solicitando fossem dadas ordens para que os insultantes apresentassem desculpas.

O commandante do destacamento, após ter investigado pormenorizadamente o facto, juntamente com o gendarme, fez apresentar ao sr. Alison expressões des desculpa, sem levar em consideração qual o culpado pelo incidente.

No entanto, deve-se salientar que o sr. Alison constantemente insultava as forças nipponicas e tomando attitude de um policial, agia fóra do seu campo "diplomatico". Consta ser esse facto, a causa do espancamento. O facto é doloroso para as forças nipponicas, mas deve-se tomar o maior cuidado possivel para que factos taes não se repitam. Pelo seu caracter todo especial, o presente incidente deve ser solucionado no local.

Doravante, quando um extranho quizer penetrar num logar guardado por forças nipponicas, deve reflectir bem no espirito de obediencia e de ordem dos soldados imperiaes e respeitar o prestigio das forças vencedoras".

Novo accordo sino-sovietico?

O que se propala em Berlin

Berlin, 26 — Domei — Segundo noticias propaladas por um orgão da imprensa berlinense, sabe-se que o delegado especial do governo nacionalista Son-Fu realizou, com o governo sovietico, um accordo baseado nos seguintes principios:

1.o — O governo sovietico concorrerá na pacificação politica da Mongolia Exterior e na nomeação de um representante do governo nacionalista como um dos membros governamentaes da Mongolia Exterior.

2.o — A força militar da Mongolia Exterior é de 200.000 homens incluindo nesse total tambem soldados russos. O governo sovietico fará ao governo nacionalista um emprestimo de 2 milhões de rublos e fornecerá tambem armas e munições.

3.o — Augmentar no seio do governo nacionalista instructores militares sovieticos.

4.o — Em compensação, o governo nacionalista concederá ao governo sovietico diversas vantagens commerciaes.

Soldados japonezes

collaborarão na obra de reconstrucção da China do Norte

Tokio, 28 — Domei — O ministerio da Guerra resolveu que os soldados que se acham em acção actualmente na China do Norte, si, depois de cumprido a sua obrigação, desejarem continuar a sua vida lá mesmo, podem fazel-o, sendo grandemente facilitado pelos poderes publicos do Japão.

Esta resolução governamental será coroada de exito, pois a China do Norte, com o seu novo governo, pretende realizar grandes trabalhos e para isso é do desejo daquelle governo empregar um grande numero de japonezes nas obras de restabelecimento do paiz.

Movimento anti-governo nacionalista em Canton

Hong-Kong, 27 — Domei — Os poderes publicos de Canton trabalham activamente no sentido de incentivar no espirito do seu povo o sentimento de defesa da patria; mas o povo contrariando essa actividade, demonstra cada vez mais sentimentos anti-guerreiros.

Recentemente organizou-se na cidade de Canton uma espécie de grupo pró-paz e espalharam-se em toda a cidade pamphletos, incitando o povo ao movimento anti-Chang.

O pamphleto espalhado, dizia entre outras cousas, o seguinte:

"Os adeptos do Partido Nacionalista, levados pelas instigações do Partido Communista, e não levando em consideração a realidade das forças do paiz, continuam cegamente o seu combate contra o Japão. Ignorando a politica da Inglaterra e a dos Estados Unidos, que é a da separação da China do Japão, e ainda reconhecendo perfeitamente a expansão da doutrina vermelha no paiz, proseguem na luta fraticida, dando ao mesmo tempo, fabulosas despezas ao paiz.

O governo e as forças nacionalistas, não se incommodando com as suas successivas derrotas, intensificam cada vez mais as actividades pela destruição da sua propria patria, enganando os seus subditos innocentes.

Nós, os verdadeiros patriotas, considerando e examinando a realidade dos acontecimentos, não devemos batalhar pela nossa propria destruição, levados pelas falsas propagandas de um só lado. Nós, formando aqui em Canton este grupo pró-paz e apresentando os nossos severos protestos, devemos trabalhar para a reconquista de um prospero e pacifico governo democratico, baseado na igualdade, salvando o povo que se sacrifica constante e desnecessariamente".

Insignificante «superavit» na primeira dezena de dezembro

Tokio, Dez, — Com um balanço um tanto fraco, encerrou-se a primeira dezena do corrente mez, do nosso commercio exterior, cujo "superavit" foi assignalado com a insignificante cifra de 1.249.000 yens:

A relação que se segue mostra o movimento dos principaes artigos do nosso commercio exterior no mesmo periodo, com excepção dos cuja publicação se acha suspensa em virtude do estado de guerra: (em mil yens)

Exportação:

Tecidos de algodão	14.627
Fios de seda animal	8.092
Tecidos de seda vegetal	4.273
Machinas e pertences	2.698
Conservas e comestiveis	829
Tecidos de seda animal	2.013
Artigos de meias	1.354
Tecidos de lã	902
Porcellanas	1.241
Fios de algodão	1.345
Brinquedos	860
Fios de seda vegetal	760
Madeiras	836
Diversos	35.072

Importação:

Algodão em rama	4.849
Lã	938
Sojas e semelhantes	2.046
Borracha crua	274
Celluloses	3.920
Madeiras	1.368
Carvão de pedra	2.267
Sulfato de ammonio	456
Sementes oleaginosas	1.208
Tortas oleaginosas	753
Trigo	1.564
Linhos	898
Assucar	269
Diversos	51.431

Não serão creados os ministerios do Ar e do Commercio Exterior

Tokio, 27 — Domei — Na sessão da Commissão Orçamentaria da Camara dos Representantes, o deputado Sigueru Isisaka interpellou o chefe do governo sobre se este pretendia ou não crear os ministerios do Ar e do Commercio Exterior. O principe Konoye, respondendo, negou terminantemente tal suggestão, declarando que não se cogitava de crear os citados ministerios.

O governo planeja o controle da producção de celluloide

Afim de regularizar o serviço de distribuição do nitrato e camphora

Tokio, Dezembro — A industria productiva do celluloide, que constitue uma das materias mais importantes das nossas industrias manufactureiras, vem soffrendo, nestes ultimos annos, a falta de um controle adequado, o que tornava irregular o serviço de distribuição do nitrato e camphora, a cargo do ministerio do Commercio e Industria. A necessidade de acabar de vez com a situação anomala se impunha para a expansão do celluloide industrial, cuja iniciativa vae ser tomada pelos nossos poderes publicos. Assim é que as velhas intrigas existentes entre o grupo dos pequenos fabricantes e da Companhia Nipponica de Celluloide, que tem o monopolio da metade da nossa producção, serão resolvidas, agora convenientemente.

Completamente esgotada a primeira emissão das dividas publicas

300.000.000 yens subscriptos pela Secção de Depositos e pelo Banco do Nippon

Tokio, Dezembro, — Como já tivemos ensejo de annunciar, o governo está autorisado a fazer varias emissões de titulos de divida publica, afim de occorrer ás despesas extraordinarias feitas com o conflicto sino-nipponico.

A primeira dessas emissões foi lançada a poucos dias, no valor de 300.000.000 yens ..... (1.500.000 contos de reis), a qual foi subscripta, totalmente, pela Secção de Depositos e pelo Banco do Nippon. Cada apolice da presente emissão é de 100 yens, typo 98, a juros annuaes de 3,5%, pagos semestralmente, em 15 março e setembro. O prazo de vencimento está marcado para 15 de março de 1955.

怪奇探偵 幽鬼

仲郷三郎（雷槌原隆）

【25】

正しき憂慮（一）

早坂の若い正義觀に、正木は老獪な微笑を浮べ乍ら云つた。

「早坂君！　さう興奮しちゃアいかんよ。君は何か思ひ違ひをして居るんだ。」

「思ひ違ひかも知れません、だから、譯をお話し下さい。」

早坂も、落着いて云つた。

「いや、そりやア話してもいのだがね。君と云ふ人は、會社でも非常に嘱望してゐる將來は君によつて、工場を見て貰はうと迄思つて居るんだから、話してもいゝんだが、今云つた樣に、この問題を絶對秘密にして貰ひたいと、會社に非常な不利ばかりでなく君自身も責任上、前途ある將來を棒つて任舞はなけりやアならなくなるんだからね。その邊をよく考へて貰ひたい」

「えゝ。御好意はあり難いですが僕も十分考へてゐるつもりですから。」

「さうかね。それぢやアお話しゝようが……」

と、正木はぐつと早坂の耳の傍に口を寄せて云つた。

「あの煙突男は、その電流で死んだんだよ。」

「えッ！」

早坂は自分の耳を疑つた。

「どうしてです？」

「驚いたらう、僕も驚いたんだ。」

正木はさう云つて、早坂の顏色を見乍ら、

「だが、君、心配しなくつていゝよ。この問題は君と僕と丈けの事なんだ。誰も他に知つてゐる者はないんだし、よしんば警察で取調べられた所で、君が電流の五十ボルトを主張しさへすれば濟むことなんだから……」

「だが、をかしいぢやアないか？　鐵條網に引いた電流が、何で煙突男に通じたんでせう？」

早坂は疑はしい眼を上げた。

「それだよ。……僕もその點でまさかと思つて居たんだが誰かが不用意に、その針金の餘りを煙突の周圍に卷きつけて置いたんだと聞いて驚いてるんだ。」

「そんな馬鹿な！」

「それだよ。不用意にやつたんだか、或は誰れかがわざわざやつたんだか知らんが、兎角、鐵條網と鐵の煙突とが針金で結びつけられて居た事は事實なんだ。」

「それは、誰が見つけたんです？」

「爭議團の奴等なんだよ。最初はね。誰もみんな、あの男が自分で墜落したんだと許り思つて居たんだが、どうもあまり念なんで、をかしいと思つたんだらう。それで煙突の傍へよつて調べて見たら、一條の針金がまきつけてあり、その針金は、鐵條網から引つ張つてきてある事が分つたもんだから、急に驚ぎが大きくなつて、あの始末なんだよ。」

「だが、をかしいですなア、假んば、あの針金が接續してあつたところで、普通ならば煙突の男に感電する譯がないんですが……電流が通じるのには、何かもう一本の針金を頂上から地上に垂らしでもしなければならない筈なんですが……」

早坂は不審の眼を正木の方へ向けた。

「何か、煙突男は持つて居なかつたのですかしら？」

「サア？　そいつは分らないが、兎に角、會社で他の人間が登ることに不承知だつたので、あのスローガンを下げてゐる紐かなんかを上から下ろさして居たよ。」

「その紐は、地上に届いたのでせうか？」

「サア、届いたかどうか分らないが、何でもそれが紐でなくつて針金だつたといふ事丈けは聞いたがね。」

「針金の……ぢやアそれですそれで分りましたよ。煙突男の死んだのは、あの電流の故です。……それに相違ありません。」

早坂はかう斷定するやうに云つて、深い溜息をした。正木はその態度を見乍ら狡猾な眼を光らせて、

「でも、どうだつていゝぢやアないか、誰もそんな事を知つて居る者はないんだから……」

FOTO DUX
ドックス
寫眞館
兒島末男
ラルゴ・テゾーロ廿一ノ三階電話二七五七

◉眼科 ◉婦人科 ◉小兒科
慢性胃腸病 リウマチス 痔疾 神經病 殷電氣療治
醫師 加藤憲
婦人科ドットール・パウロ・ヴエーラ
リンス市ルイス・ガマ街三番

自轉車
なら專門の
野村洋行へ
聖市アラメーダ グレッテ六三九
バロン・デ・リメイラトと交叉點

ドンベードロ・セグンド病院
外科、內科、產婦人科、X光線ジアテルミア
聖市ルア・ダ・フイゲーラ八番 電話三—三一四一番
ドットール 竹下 貞一
自宅 コロネル・ベント・ピレス街一〇七番、電話二—二六〇
診察時間 午前中自宅 午後病院（病院の近く）

賣住宅地
電車乘合自動車の通ずる最良住宅地長期賣出し開始、場所バイロ・デ・ビラ・マリアーナ、地權確實、御希望の御方には何時でも書類御見せ致します
御照會は
Rua João Briccola, 10 - 6.º andar sala 639 a 631
御照會は日本文にても可

割がきいて味が良い
富士山印
醸造元 醤油
カフエランヂア驛 ノロ線
藤澤豊次郎

午前八時—午後九時
岡山齒科
聖市コンデ・ド・ピニヤル一三五
電話二—六〇三七

日伯齒科醫院
齒科醫學士 院長村上眞市郎
大阪齒科醫學士 林博之
齒科リツセンシアド 山田忠松
聖市コンデ・デ・サルゼダス街四十番 電話二—三〇二九
自宅電話七—二二四九
一般齒科 レントゲン科 ジアテルミア科 口腔外科

CASA URANO
F. GUEDES 輸入商
化粧品原料 エツセンシヤ ロツロス瓶 其他一般 化粧用品原料 お菓子原料 ▼卸値段
Rua Oriente, 790 Tel. 9-1096
São Paulo

青年入用
リオ、ミナス向バタタ、トマテ作り月給住込リーブレ百ミルより二百ミル以上、毎日曜半日休、毎月末拂ひ、夫婦者にても可、リオ通ひカミニオン運轉手一名
當地方海拔七百米、氣候良、風土病絶無、伯人濕良、聖市ノルテ驛より汽車賃急行にて五十ミル餘、ミナス州ジユイス・デ・フオーラ市人口八萬郊外ベンヒーカ驛前ノルテ驛にて切符購入の際はジユイス・デ・フオーラ宛便利、驛前日本人商店有り
津山朝次郎
A. TUYAMA Est. Bom Fica E.F.C.B. Minas Geraes